

2005年2月3日

## 2004年度第3回談話会開催のお知らせ

関西支部 支部長 岡田 伸夫  
大学英語教育学会関西支部事務局  
〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6  
京都外国語大学 相川真佐夫研究室内  
Phone: 075 - 322 - 6079 (研究室直通)  
FAX: 075 - 322 - 6245 (国際言語平和研究所・相川宛)  
E-mail: aikawa@nnc.or.jp  
URL: <http://www.jacet-kansai.org>

晩冬の候、会員の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。  
さて、今年度の第3回談話会を下記の要領で開催したく存じます。奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

### 記

- ◆ 日時: 2005年3月6日(日曜日) 16時00分 17時30分
- ◆ 場所: キャンパスプラザ京都 (2F)  
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る  
TEL. (075)353-9111  
<http://www.consortium.or.jp/campusplaza/access.html>
- ◆ 講師: 竹内理氏(関西大学)
- ◆ 演題: より良い英語学習法を求めて
- ◆ 講師紹介・司会: 赤野一郎氏(京都外国語大学)
- ◆ 概要と講師プロフィール: 裏面参照
- ◆ 参加費: 会員500円、非会員 1,000円(学生500円)
- ◆ 事前申込不要。直接会場にお越しください。

## 講演概要

今回の談話会では、英語学習成功者の使用する学習方略を、講演者がどのような手法を用いて解明しようと試みたかについて、段階をおって詳説し、i) 研究手法の複線化の大切さ、ii) 学習環境の影響力の強さ、iii) 学習段階と方略使用の関係、などについて情報を提供していきたい。具体的には、まず研究の契機について触れ、次に文献研究から分かった知見を導入する。続いて質問紙法の問題点を指摘し、質問紙法に代わる方法論の検討を行う。その後、言語レポート法による質的研究を導入し、その結果を外国語習得に関係する諸分野の知見(理論やデータ)と照合する。最後に量的な研究をいくつか紹介して、英語教育における方略訓練の可能性や方法について、現時点で可能な限り言及していく。

## 講師プロフィール

竹内 理(たけうち・おさむ)

関西大学 大学院外国語教育学研究科・外国語教育研究機構 教授

神戸市外国語大学大学院修了。同志社女子大学専任講師などを勤めた後、フルブライト奨学金を受け米国へ留学、モントレ・大学院 (MIIS) を修了。帰国後、同志社女子大学助教授などを経て、現職。専門分野は、英語教育学・教育メディア論。編著書・訳書に、『認知的アプローチによる外国語教育』(編著:松柏社)、『外国語教育リサーチとテストの基礎概念』(共編著:関西大学出版部)、『より良い外国語学習法を求めて - 外国語学習成功者の研究』(松柏社:2004 年度 JACET 学術賞受賞)、『第二言語習得研究の現在』(分担執筆:大修館書店)、『実践的英語教育の指導法』(共訳:ピアソン・ロングマン)、『人間関係を豊かにする英会話のスキル』(監著:NOVA 出版部)、高等学校検定教科書 *Sailing Oral-1* (共編著:啓林館)などがある。

JACET 関西支部元幹事・企画運営委員。

## 交通アクセス

